



Infrastructure  
for Multi-layer Interoperability

資料1

# 技術検討WG(第二回) 事務局報告

---

2018年11月  
IMI事務局 (IPA)

- ▶ 各TFの設置についてIPA事務局が素案を作成し展開する。
  - ▶▶ 普及戦略・法人インフォ・ユーザー支援・技術ポリシー・国際標準化・評価手法検討の6つのタスクフォースについてTF定義書を設定の上、調整会議（ステアリングコミッティ）へ報告を実施しTF設置が完了した。
- ▶ 委員間の情報量統一を図り、普及戦略についての検討を行う計画を調整する。
  - ▶▶ 普及戦略TFを設置し情報共有を図った上で、ロードマップならびに直近の注力ポイントについて検討いただいた。（詳細後述）
- ▶ 「共通語彙基盤の策定及び管理手続き」の修正を準備する。
  - ▶▶ 今年度は当該文書の修正は実施せず、当該文書と今年度IMI検討体制で相違のあるものについては調整会議及び事務局で都度検討し、検討体制全体へ周知することとした。  
([https://oscdwg.ipa.go.jp/imi\\_core/656.html](https://oscdwg.ipa.go.jp/imi_core/656.html))
- ▶ メンバー間の情報共有手段について、事務局から案内する
  - ▶▶ メーリングリストならびに検討体制情報共有環境サイトの案内を実施した。

## ▶ ミッション

▶▶ IMIを普及させるための戦略全般について議論を行う。

## ▶ 想定する主要成果物

▶▶ IMI事業のロードマップ

## ▶ 検討メンバー

▶▶ IMI検討体制の全構成員を対象とする。

## ▶ 検討状況

▶▶ 川島委員を主査に選出。

▶▶ IMIロードマップならびに直近の注力ポイントについて合意し、TF活動を完了[参考資料1]。

- 民間向け: データ流通推進協議会(DTA)、XBRL、G空間関連等との連携を重点ターゲットとする。まずはIPAが主体となってヒアリングを行ない、価値の有無を確認した上で、使ってもらうための施策(スケジュールや方法など)を検討する。
- 自治体向け: 推奨データセットの中で、優先度が高いテーマ(「避難所」と「イベント」)を選び、自治体もしくはAPPLIC等と一緒に手順などのガイド化を図る。ユーザー支援TFで実施方法やスケジュールを整理し、必要に応じ、他TFと連携し進める。

## ▶ ミッション

▶▶ 法人インフォの将来像及びIMI適用に関する技術検討を行う。

## ▶ 想定する主要成果物

▶▶ 法人ドメイン語彙、法人インフォDMDおよび解説

## ▶ 検討メンバー(敬称略)

▶▶ 篠井大祐、大槻文彦、菅又久直、武田英明、松澤有三、山本暖、吉本明平

## ▶ 検討状況

▶▶ 菅又委員を主査に選出。

▶▶ 法人インフォメーションの改善を実施するMETI(法人インフォ主幹事業者)からの情報提供・要望をIPA(委託事業者)にて分析・検討し、現状の課題・それらの対応方針について合意。

▶▶ IMI既存技術の恒久的変更の検討については、技術ポリシーTFへ検討依頼を実施。

## ▶ ミッション

- ▶▶ IMI普及戦略の方針に沿い、IMIパートナー(自治体も含む)に対する連携戦略の検討と実践を行う。

## ▶ 想定する主要成果物

- ▶▶ 活動報告

## ▶ 検討メンバー(敬称略)

- ▶▶ 太田垣恭子、大山水帆、川島宏一、小林巖生、
- ▶▶ 下山紗代子、武田英明、深見嘉明、藤井政登

## ▶ 検討状況

- ▶▶ 下山委員を主査に選出。
- ▶▶ 現状課題の洗い出しを実施し、今後課題に対する対応を検討していくことを合意。

## ▶ ミッション

▶▶ IMI技術開発の優先度および導入手順に関する議論を行う。

## ▶ 想定する主要成果物

▶▶ 技術改定・導入のシナリオ案

## ▶ 検討メンバー(敬称略)

▶▶ 及川卓也、加藤文彦、頃末和義、高木祐介、武田英明、松澤有三、山本暖

## ▶ 検討状況

▶▶ 武田委員を主査に選出。

▶▶ 法人インフォTFからの検討依頼を受領。コア語彙改版、技術仕様改定に関して、法人インフォ事業の遂行に沿った優先度付けを実施し検討を開始。

▶▶ ドメイン語彙や付随するコードに関するネームスペースの運用に関する技術的検討を行うとともに、ドメイン語彙管理の体制論について政府全体として方針を検討すべきとの提言を検討中。

## ▶ ミッション

▶▶ IMI語彙記法の国際標準化について検討する。

## ▶ 想定する主要成果物

▶▶ 活動報告

## ▶ 検討メンバー(敬称略)

▶▶ 加藤文彦、菅又久直、武田英明

## ▶ 検討状況

▶▶ 加藤委員を主査に選出。

▶▶ 11月9日に仙台で開催された会議(ISO/IEC JTC1/SC32/WG2)において、規格化提案を検討中であるとして、語彙記法の概要について説明。概念スキーマを表現するシンプルな方法として理解を得た。

▶▶ 進め方についてさらに検討中。

## ▶ ミッション

- ▶▶ データの相互運用性を評価するための手法について検討する。

## ▶ 想定する主要成果物

- ▶▶ データ評価に必要な評価軸に関する報告書

## ▶ 検討メンバー(敬称略)

- ▶▶ 小田利彦、下山紗代子、高木祐介、武田英明、早矢仕晃章

## ▶ 検討状況

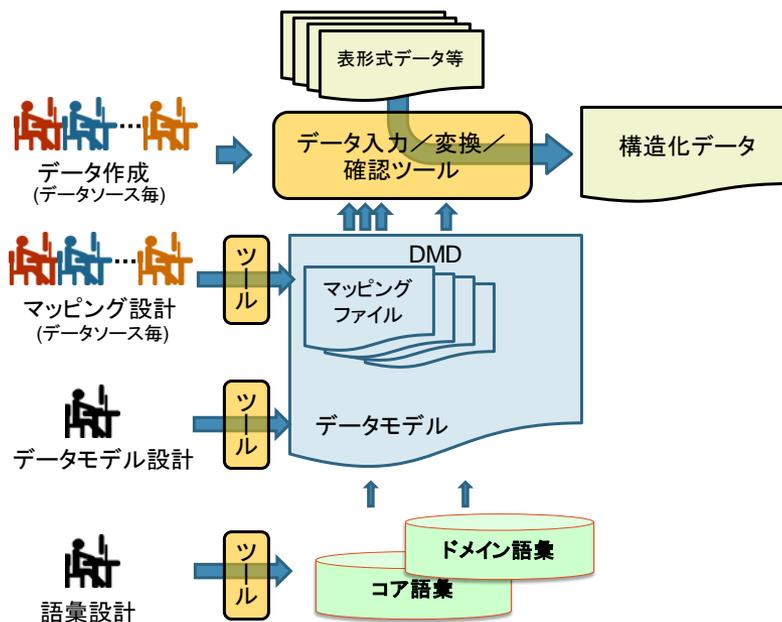
- ▶▶ 早矢仕委員を主査に選出。
- ▶▶ データ評価についての欧州委員会での検討、データ流通協議会での検討について概要をレビュー。
- ▶▶ 欧州における検討プロジェクトのキックオフが12月に開催されることとなり、そこと協調しつつデータの精度、作成に係る管理体制等、適切な評価軸を検討・取りまとめてゆくこととなった。

## 法人インフォ用ドメイン語彙の整備

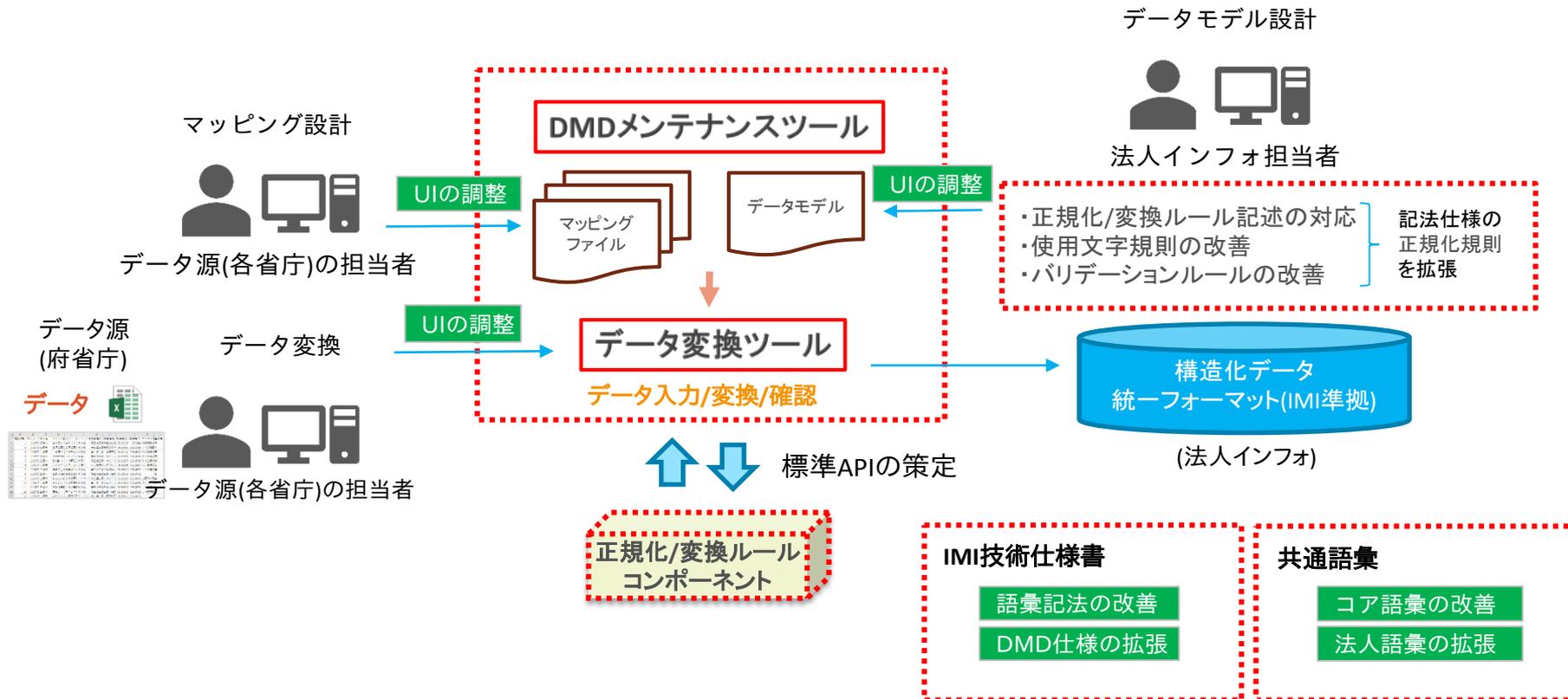
- ▶ 内容の見直しと充実
  - ▶▶ コア語彙最新バージョンへの対応
  - ▶▶ データの履歴等に係るメタデータの追加
  - ▶▶ データの利用条件に係るメタデータ追加
  - ▶▶ その他(作業部会で検討)
- ▶ imi.go.jpサイトの名前空間からの提供

## 法人インフォ用データモデルの充実

- ▶ 拡張された法人ドメイン語彙への対応
- ▶ データ正規化ルール of 充実
  - ▶▶ 変換規則の記述法、API
  - ▶▶ 正規化処理エラー時の対応定義
  - ▶▶ その他(作業部会で検討)
- ▶ データバリデーションルールの充実
  - ▶▶ データ型、値の範囲、使用可能文字等



- ▶ 法人インフォをユースケースとして想定利用者を分類  
それぞれにとって使いやすいようツールを改良
- ▶ 中間成果を自治体等へ展開し、意見を聞いて改良



## ▶ 技術ポリシーTFにおける法人インフォ対応

### ▶▶ コア語彙の改定(今年度公開予定)

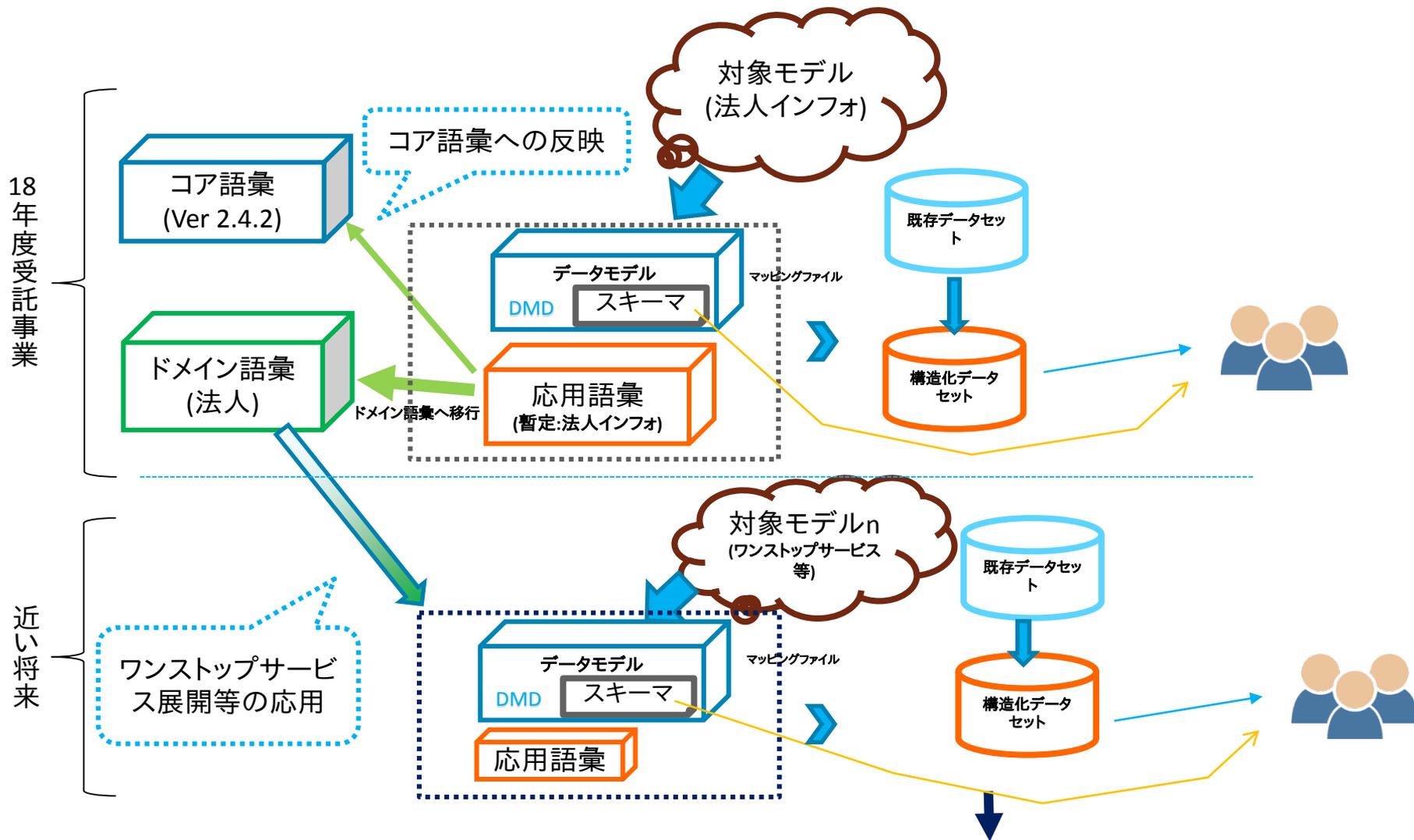
- 概念型に説明プロパティ(xsd:String)を追加
  - コード型・ID型等に説明が記述できなかったことを改善
- 実体型に関与プロパティ(関与型)を追加
  - 法人型には代表者と代理人のプロパティしかなく、株主等の関係者記述が出来ないため、関与を追加して多用な関係者を記載可能とする。(代表者・代理人プロパティの扱いは今後検討)

### ▶▶ 技術仕様の改定(今年度公開予定)

- DMDに同梱必須としているMappingファイルを任意ファイルへ変更する
  - Mappingとデータモデルの分離により、仕様が簡潔となり利用シーンも描きやすい。DMD3.0になり語彙記法によるモデル定義が可能となったため、Mappingファイルの持つ意味(項目説明)が希薄となったことから任意項目への変更を実施する。
- Mappingにコメントを書くための仕様拡張を行う
  - Mappingした項目単位にコメントがかけないため利用者の利便性が損なわれている。Mappingファイルの形式を拡張することでコメント記述対応を実施する。

### ▶▶ ドメイン語彙のネームスペース

- 法人インフォ用のドメイン語彙のネームスペースとしてimi.go.jpを入り口とすることを検討中
  - 事業遂行を優先とするため、必要事項を確認の上WG承認の流れとしたい
  - ドメイン語彙のネームスペースに関しては、国としての方針検討が必要



## ▶ 議事要旨・議事録について

- ▶▶ 12月初旬までに、事務局が精査しWGの承認を経た議事要旨をIMIサイトに公開予定
- ▶▶ 12月初旬までに、事務局が精査しWGの承認を経た議事録をWikiに公開予定

## ▶ 第三回WG開催について

- ▶▶ 2019年2月中旬に開催を検討中
- ▶▶ 日程調整カレンダー(別途配布)に、現時点でご都合の悪い日時を記載願います